

●南海トラフ沿いの地震活動

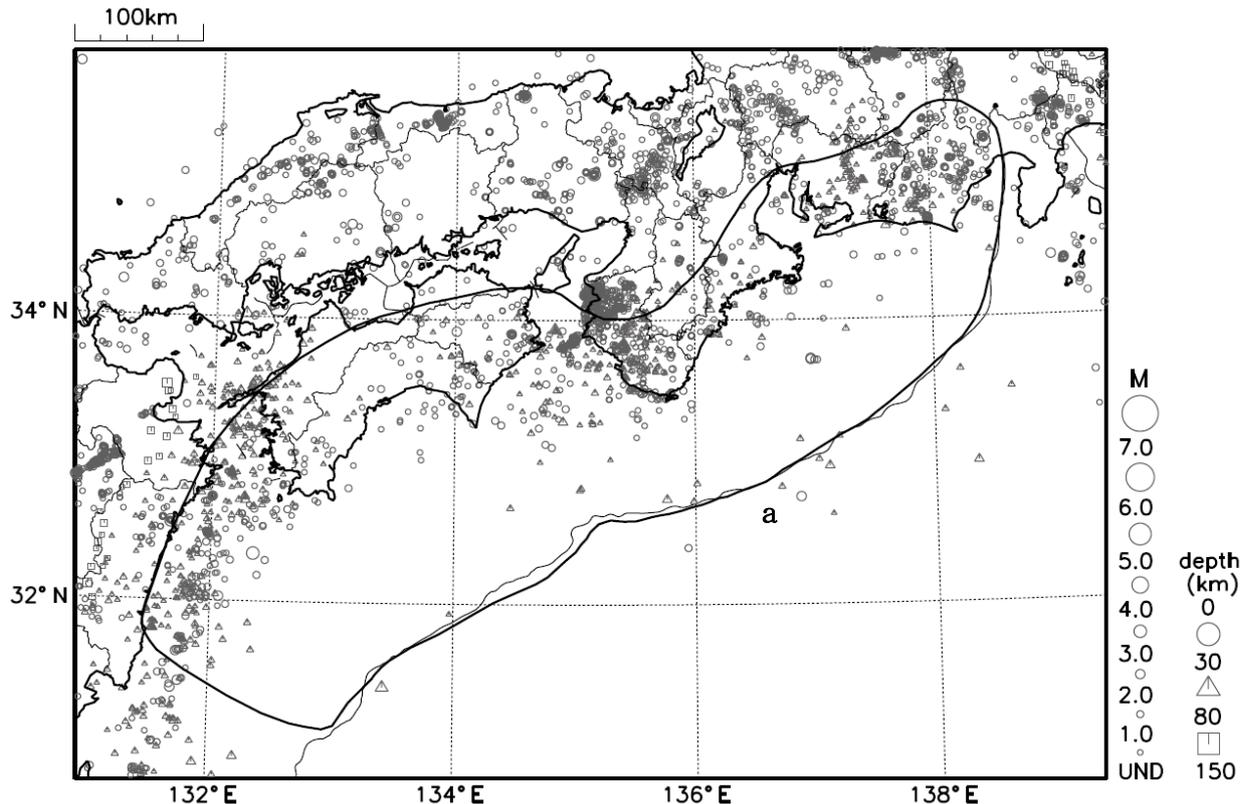


図1 震央分布図 (2018年3月1日～3月31日、深さ0～150km、Mすべて、図中の領域aは、南海トラフ巨大地震の想定震源域)

※図中の吹き出しは、領域a内のM3.5以上、それ以外の陸域M5.0以上・海域M6.0以上とその他の主な地震

○南海トラフ巨大地震の想定震源域及びその周辺：M3.5以上の地震及びその他の主な地震

特に目立った活動はなかった。

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
<u>2月21日～3月31日</u>	3月13日 3月23日、3月26日 3月27日～28日 3月28日～30日 3月30日～4月2日 3月31日	

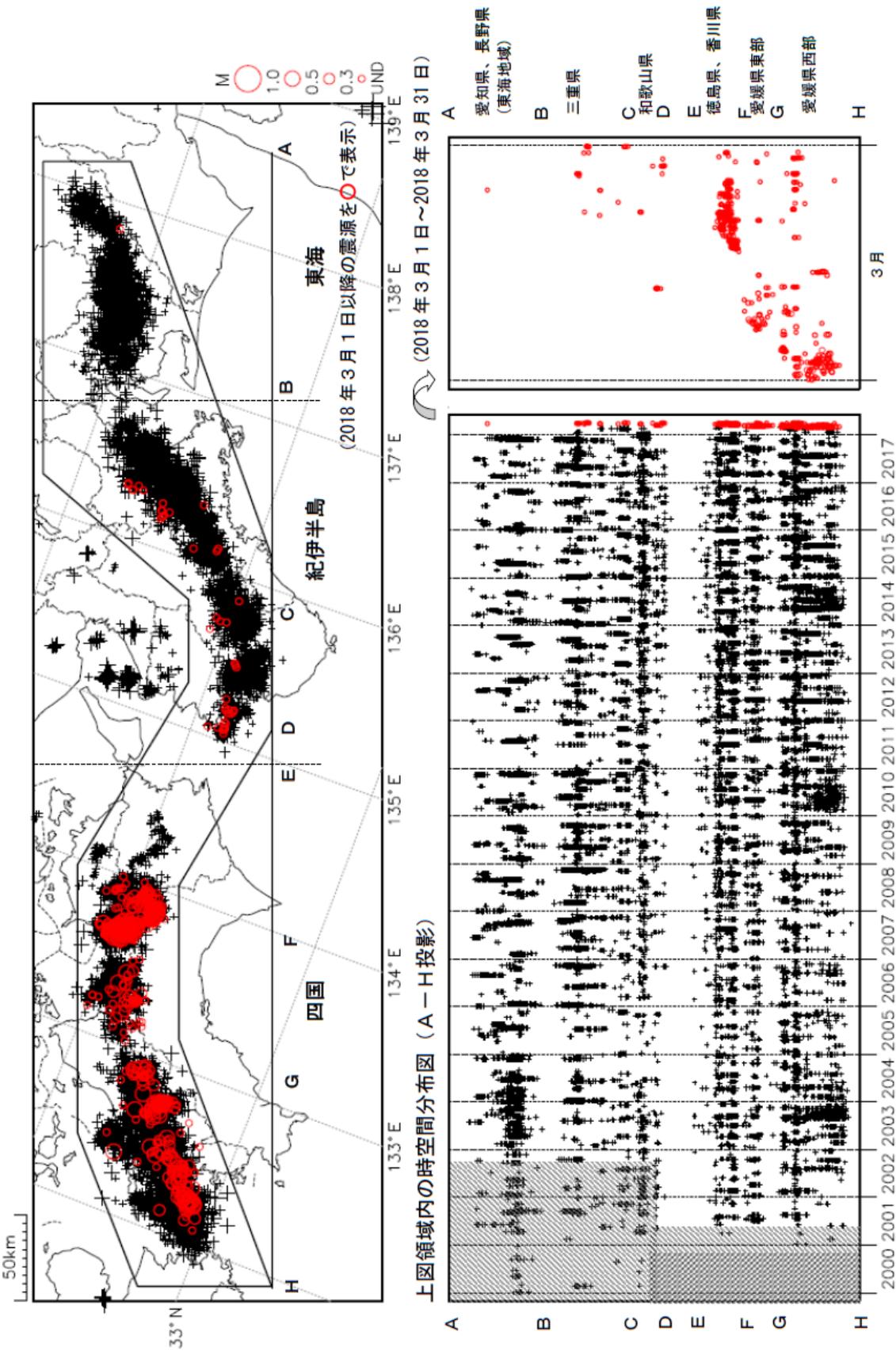
※深部低周波地震（微動）活動期間は特定の場所での一連の活動期間を記載する。

※深部低周波地震（微動）活動は、継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したものを記載している。

※深部低周波地震（微動）活動と同期してひずみ変化が観測された活動（期間）に下線を付している。

※深部低周波地震（微動）活動の地域は、次頁で示している。

深部低周波地震活動 (2000年1月1日～2018年3月31日)
 深部低周波地震は、「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。



※時空間分布図中、網掛けした期間は現在と比較して十分な検知能力がなかったことを示す。
 ※2018年3月22日から、深部低周波地震(微動)の処理方法の変更(Matched Filter法の導入)により、それ以前と比較して検知能力が変わっている可能性がある。気象庁作成

図2 深部低周波地震活動 (2000年1月1日～2018年3月31日)